

# 逆瀬川 小林 ・ 仁川 エリア

西宮道の道筋には、歴史ある寺社が多く残っています。また、六甲山麓の高地まで足を延ばすと、弥生時代の高地性集落・古墳時代の群集墳が残り、眺望も楽しめます。



## ① 平林寺

(本尊・石造物：市有形文化財)

聖徳太子の開創と伝えられる。境内に置かれている石造露盤は宝形造のお堂の屋根に置かれるもので、鎌倉時代のもの。

本尊は木造釈迦如来坐像。



## ② 伊和志津神社

(本殿：市有形文化財)



平安時代に書かれた「延喜式」に名を残す古い神社。本殿は柿葺の一間社春日造。かつては武庫川の川辺近くにあったが、大洪水による水害を避けるため今の場所に移された。

## ③ 熊野神社



鹿塩村に伝わる村名の由来となった鹿の民話ゆかりの地。かつては1月3日に厄払いと五穀豊穡を占うお弓神事が行われた。

## ④ 高司素盞鳴神社

(本殿：県有形文化財)

本殿は江戸時代前期、左右の相殿は江戸時代中期建立。江戸時代の優れた建築様式が残る。覆屋内に保護される。



## ⑤ 宝塚神社



明治以前は山王権現と称して崇拝を受けていたが、昭和40年(1965)に素盞鳴神社と合祀し改名。1月10日には「宝のえびす」の祭でにぎわう。

## ⑥ 小林聖心女子学院本館

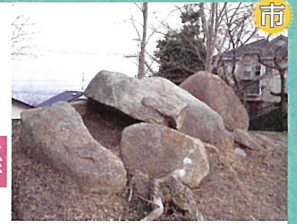
(国登録文化財 / 非公開)



昭和2年(1927)建築。チェコの建築家アントニン・レーモンド氏が曲線などを生かしたデザインで設計した鉄筋コンクリート造りの建物。

## ⑦ 五ヶ山古墳群

(4号墳：市史跡)



↑五ヶ山古墳群4号墳は公園内に保存されている。弥生時代に築かれた高地性集落の範囲にある。

## ⑧ 仁川旭ガ丘古墳群

6世紀末から7世紀初頭にかけて六甲山麓に築かれた群集墳。



←仁川旭ガ丘古墳群1・3号墳の2基が残る。

## ひと足のばして……

## ⑨ 逆瀬川砂防堰堤



明治時代後半、全国の前駆として築かれた砂防堰堤。水害減少に大きく貢献した。

## ⑩ 塩尾寺

宝塚温泉源泉にゆかりのある柳の木を彫って観音像として祀ったという縁起伝説がある。



## ⑪ 旧松本邸

(国登録文化財 / 期間公開)



昭和12年(1937)建築の木造洋館。建築当時の姿を残しモダンな西洋スタイルを伝える。

## ちよいとブレイク



## たからづかの民話『鹿の鏡井戸』



奈良時代の頃、都のある奈良の春日大社へ、各地域から鹿が神の使いの手伝いをするために集まっていた。

熊野神社の祭りの日には、毎年春日大社の使いがくるならわしとなっていて、その年も、雄鹿と雌鹿が供物を背中に積んできました。

旅の疲れで眠ってしまった雌鹿を置いて、雄鹿が出かけている間に、目を覚ました雌鹿は、雄鹿の姿を探

している間に、井戸に映った自分の姿を雄鹿と見誤り、井戸と気づかず飛び込んでしまいました。

村人は雌鹿を哀れみ、鹿の屍を丁重に塩で包んで、春日大社に送り届けました。

このことにちなんで村名を「鹿塩」と名付けることにしたそうです。

また、お祭りには塩を一切使わなくなったことからお祭りは「しおたち祭り」と呼ぶようになりました。